



和気満堂

宜野湾市立 真志喜中学校
 2024年度学校だより 第4号
 ～心豊かに自ら学び、たくましく国際社会を生きる真中生～
 令和6年7月1日発行 校長 又吉直正

□3年生キャリア教育講演会を開催～興南高校 島袋洋奨氏を迎えて～

6月25日(火)に元興南高校野球部で2010年に春夏連覇の偉業を達成した同校元野球部の島袋洋奨氏を講師にキャリア教育講演会を3年生対象に実施しました。2010年の春夏連覇の年は、現3年生がまだ1歳頃のこと。なので3年の職員は興南高校や野球部のことについて事前に動画や学習を入れ、当日の講演会を迎えています。島袋氏は今現在同校の事務職員として努めていますが教員免許取得に向けて取り組んでいるようです。講演内容では「自分の夢」⇒「目標」⇒「現在の自分」⇒「今の自分は何をすべきか?」というプロセス設計を行い、夢実現に向かうようエールを贈っていました。また、同校入試広報部の宇栄原氏・知念氏からは「自分の短所を長所として活かすこと」や「高校入試の面接では、自分の進路を深く考えること、具体的な理由や例を添えながらアピールできることが大切」等多くの助言をいただきました。ありがとうございました。



□戦後79年目となる慰霊の日を迎え、全員で平和を考える。

6月21日(金)の1校時に伊波義雄氏をお招きし平和学習会を開催しました。伊波氏は本市の嘉数出身であり、また真志喜中学校が開校した時の技術科教師として、本校にてお勤めでした。悲惨な戦争の様子を紹介として、当時糸満市真栄里にある防空壕に避難していた頃、伊波さんは防毒マスクをしていたそうですが、壕の中では息苦しさから自らマスクを外してしまった。毒ガスの影響で半年程は自分の声が出せなかったというお話や、体に傷を負った際には「味噌」を塗りつけることで、ばい菌から体を守る知恵があったこと、また米軍の戦車を爆破するための戦術として戦車の下に隠れ、手りゅう弾を自死を覚悟で爆発させたことなど、戦時中の悲しい出来事や思い出などを話していただきました(写真上)。3学年は6月18日(火)に株式会社「さびら」の安里拓也氏をお招きしました。戦争を体験はないが、次世代を生きていく若者として平和をどのように考え、繋いで行くべきかについて多様な角度から沖縄戦を見つめ直し、生徒に問いながら講話をしていただきました。戦からの避難ルートが記録として残されていますが、ルートによっては助かった住民、命を落とした住民がいた。こんなに多くの住民が犠牲になった戦争はなかった.....。安里氏のお話は沖縄戦の学び直しを後押ししてくれる刺戟となりました。



◆「プール開き」で安全祈願を行いました。

6月18日(火)、真志喜中学校全生徒の命が守られ、安心・安全にプール活動ができるようご祈願をいたしました。2礼2拍1礼を参加者全員で行い、プール4隅を清め、祈願をしています。職員一同、安全第一に活動するよう安全管理に努めてまいります。



◆「地区スキットコンテスト」素晴らしい発表でした。

中頭地区のスキットコンテストが、6月26日(水)に宜野湾市社会福祉協議会で開催されました。中頭地区の各ブロックを勝ち抜いた7校による発表はどれもレベルが高く、真志喜中学校はブロック大会よりも素晴らしい発表ではありましたが、惜しくも県大会出場資格は得られませんでした。しかし、審査員や各校の参加者からは「大変元気があり、ストーリー展開も楽しく観ることができた」など好評でありました。参加校中唯一の1・2年生の構成チーム。来年が楽しみです。



◆7月～8月の主な学校関連行事

- 7月 2日(火) ⇒ 思春期講演会(3年)
- 7月 3日(水) ⇒ 生徒会専門委員会
- 7月 5日(金) ⇒ 漢字検定①
- 7月 9日(火) ⇒ 避難訓練(地震・津波)
- 7月10日(水) ⇒ 生徒会朝会
- 7月17日(水) ⇒ 学年朝会
- 7月19日(金) ⇒ 1学期 終業式(給食有り)
- 7月20日(土)～8月26日(月) 夏休み
- 7月21日(日) ⇒ 県中体連(～26日)
- 7月23日(火) ⇒ 三者面談①
- 7月24日(水) ⇒ 三者面談②
- 7月25日(木) ⇒ 三者面談③
- 8月 2日(金) ⇒ 市スクールサミット
- 8月 7日(水)～9日(金) ⇒ 学校閉庁日
- 8月27日(火) ⇒ 2学期始業式(給食有り)
- 8月28日(水) ⇒ 生徒会朝会

◆7月・8月の各種目標

- 生活目標：遅刻「0」を目指そう！
- ：8時10分までに入室しよう！
- 保健目標：病気の治療をしよう！
- ：規則正しい生活をしよう！